

1 学校教育目標

「望みあり・力あり・光あり」



15代目の校長先生
伊藤誠一校長先生の筆による

←昭和44年11月3日 建立

※昇降口前に記念樹の赤松とともににある碑



2 一條小の「めざす子ども」

- (1) 夢中になって学ぶ子ども (知)
- (2) 人の考えをよく聴く子ども (徳)
- (3) 自他のいのちを大切にする子ども (体)



◇ 「夢中になって学ぶ子ども」を目指して

- ①子どもが夢中になって学ぶ授業づくり（校内研究の日常化）
 - ・探究を生み出す年間指導計画の編成と更新（「おもしろい」「不思議」の追究）
 - ・子どもが夢中になる課題づくり（授業で完結しない学びを生み出す課題の工夫）
 - ・互いの考えを聴き合う学びの風土づくり（「わからない」が言える教室）
 - ・家庭と連携した家庭学習（各種大魔王、学年課題、自主学習）の充実
- ②地域社会へ視野を広げる学習及び学びを豊かにする読書活動の充実
 - ・地域のよさを実感し地域のために行動する、生活科・総合的な学習の時間の充実
 - ・地域人材（保護者）とのかかわりを通して視野や考えを広げる学習活動の充実
 - ・読書意欲を高め、読書を楽しむ活動の充実

◇ 「人の考えをよく聴くことができる子ども」を目指して

- ①互いに関心をもち、ケアし合う関係の構築
 - ・互いの思いに寄り添った関係を育む学級経営の推進
 - ・よりよい学校生活を送るための特別活動（児童会・学級活動）の推進
 - ・校内外ボランティア活動や日常の清掃活動を通じた公益の心の涵養
- ②教育相談の日常化
 - ・子どもの心の変容に寄り添った日常的及び定期的な教育相談活動の充実
 - ・チームによる教育相談体制の確立
 - ・特別支援教育の視点に立った個別支援と情報の共有化

◇ 「自他のいのちを大切に子ども」を目指して

①心身の健康の保持増進

- ・教科体育における目的意識の喚起と苦手領域の克服
- ・進んで自己の健康管理に努めようとする健康教育の充実（感染症予防も含む）
- ・家庭とともに推進する生活習慣及び生活リズムの見直し

②安全教育と食育の充実

- ・自己のいのちを守るために、思考し判断し実践する場を保障した安全教育の充実
- ・感謝の気持ちを大切に食育の充実（感謝のあいさつ・楽しい食事）